

第5回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの 技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」(案)

2018年2月27日 13:30~28日 14:50
京都大学原子炉実験所 (大阪府泉南郡熊取町)

2月27日

13:30 開会あいさつ

座長:

13:40~14:10 KURAMAの展開の現状
谷垣 実 (京都大学)

14:10~14:40 ASURAを用いた最近の調査の紹介
後藤 淳 (新潟大学)、高橋剛、遠藤良、福島優希、吉田秀義、
西方真弓、菖蒲川由郷、内藤真

14:40~15:10 TBA

15:10~15:30 休憩 (20分)

座長:

15:30~16:00 土壌中における放射性Csの深さ分布の推定方法の検討
百田 佐多生 (高知工科大学)、荒木 菜奈、谷垣 実 (京都大学)

16:00~16:30 KURAMAIIを用いたカキほ場の放射性物質分布状況
関澤春仁 (福島県農業総合センター)

16:30~17:00 福島県飯舘村における水田周囲の土壌放射能の評価
上田義勝 (京都大学)、二瓶直登 (東京大学)、徳田陽明 (滋賀大学)、
谷垣実 (京都大学)

2月28日

座長:

10:15~10:45 放射能測定法シリーズNo.17「連続モニタによる環境 γ 線測定法」の改訂について
松田秀夫 (原子力規制庁)

10:45~11:15 生活行動経路に沿ったKURAMA測定に基づく被ばく線量の推定
佐藤哲朗 (日立ソリューションズ東日本)

11:15~11:45 TBA
梨木裕之 (東京電力)

11:45~13:00 昼食 (75分)

座長:

13:00~13:30 PHITSシミュレーションによる土壌放射能濃度分布と空間線量率の関係に関する
一考察
水野義之 (京都女子大学)

13:30~14:00 放射線量マッピングのための 屋内外測位技術の現状
津野 浩一 (国際航業)、渡辺 明彦、加納 政宏

14:00~14:30 KURAMAによる常磐道放射線量計測
武宮 博 (原子力機構)、斎藤公明、吉田浩子 (東北大学)

14:30~14:50 総合討論

14:50 終了